

住友化学 News Release

2017年11月27日

中国における半導体用高純度ケミカル工場の新設について

住友化学は、このたび、住化電子材料科技（常州）有限公司において、半導体用高純度ケミカル工場の建設を開始いたしました。中国での半導体用高純度ケミカル工場の設立は西安に続く2拠点目となり、新工場での量産開始は2019年3月の予定です。

住友化学は、2001年に上海で光学機能性フィルムの加工・販売拠点を設立して以降、顧客のニーズにきめ細かく対応すべく、北京や無錫をはじめ中国8拠点で情報電子化学事業を展開しており、現在は液晶パネル用の偏光フィルムや半導体用の高純度ケミカルなどの製造・販売を行っています。

半導体用高純度ケミカルは、半導体の微細加工工程において、精密洗浄などに用いられています。中国における情報電子機器の需要増加や半導体産業の拡大を背景に、各半導体メーカーはラインの増強計画を打ち出しており、半導体用高純度ケミカルについても大幅な需要拡大が見込まれています。こうした背景から、今回、新工場を設立することといたしました。

住友化学は、中期経営計画において「ICT」分野を次世代事業開発の重点領域の一つとして位置付けています。今後も、旺盛な半導体需要を取り込みつつ、当社がこれまで培ってきた事業の優位性を発展させながら、さらなる事業強化を図ってまいります。

＜新会社の概要＞

会社名：住化電子材料科技（常州）有限公司

設立年月：2017年8月

所在地：中国江蘇省常州国家高新区内

資本金：50百万米ドル

董事長：池添 肇

事業内容：過酸化水素水、硫酸、イソプロピルアルコール等の製造・販売

以上